

子ども樹木博士リーダー等研修会（H21）

1 開催の目的

子ども樹木博士の活動を既に始めておられる方やこれからやってみたいという方、興味や関心のある方などを対象として、子ども樹木博士活動実施のきっかけづくりとスキルアップを図る。

2 日時・場所等

平成 21 年 11 月 29 日（日）10：00～16：30
林友ビル及び小石川後樂園（東京都文京区後楽）
参加者：団体や個人，総勢 52 人

3 プログラム

(1) ご挨拶（10：00～10：15）

木平勇吉 会長（東京農工大学 名誉教授）
井上智晴 氏（林野庁計画課森林総合利用・山村振興室 課長補佐）

(2) 屋内研修（10：15～12：15）

子ども樹木博士について～プログラムの趣旨，企画・進め方等～

講師：木平勇吉 会長

子ども樹木博士実施事例報告

～学習塾の小学生を対象とした子ども樹木博士の実施～

講師：柳原高文 先生（森林インストラクター）

インタープリテーション（参加者を知る，プレゼンテーションの工夫等）

講師：小菅智彦 先生（森林インストラクター東京会 副会長）

五感で感じる樹木（五感と葉っぱ：見る・聴く・触る・嗅ぐ・味わう）

講師：渡辺直明 先生（東京農工大学農学部 助教）

(3) 野外実習（13：10～15：20）

4 班に分かれて，小石川後樂園内の 19 樹種を対象に子ども樹木博士を模擬的に実践（解答の結果に応じた級・段の認定証授与）（各班のインストラクター：渡辺直明先生・堀内孝雄先生（茨城県植物園緑のインタープリター）・小菅智彦先生・柳原高文先生）

(4) 意見交換等（15：20～14：30）

野外実習の 19 樹種について堀内孝雄先生から解説をいただいた後，子ども樹木博士の進め方等について質疑・意見交換。その中で，本協議会の箕輪光博顧問（（財）日本森林林業振興会会長／東京大学名誉教授）から，子ども樹木博士の実施に関する話題提供。

[屋内研修・野外実習等の実施概要]

屋内研修

(1) 子ども樹木博士について（木平勇吉 会長）

プログラを企画して実施することは難しいことではないが、参加者を集めるのに苦労がある。そのため、いろいろな催しに参加したり共催したりする方法や年間のプログラムに組み入れてもらう方法等、参加者募集に工夫をしてやっていただきたい。出前子ども樹木博士では、受け入れ側の学校等の意向を十分尊重し、打合せもしっかりする必要がある。子ども樹木博士は、やらねばならないといった決まった方法があるわけではないので、リーダーは、自分の考えで工夫をして行っていただきたい。



(2) 子ども樹木博士の実施事例報告（柳原高文 先生）

進学塾の夏期の合宿時に、塾生を対象に実施した子ども樹木博士の事例を報告する。進学塾の子どもたちは、試験となると燃えてくるようで、説明を聞き解答するまでの集中力はすごいものがあつた。塾側としても、息抜きイベントとしてではなく、理科の受験対策としても需要があるとのことであつた。

(3) インタープリテーション（小菅智彦 先生）

参加者の安全を確保し、参加者にとって満足度が高く、より効果的な活動を提供するために、指導者が参加者を知ることが重要である。そのため、人数、体力面、技術面、参加目的、参加意欲等の把握を行うとともに、プライバシーを尊重し、守秘義務を守り、参加者に劣等感を与えない等の留意が必要である。（また、よりよいプレゼンテーションを行うための指導のポイント、指導者の心得、効果的なプレゼンテーションのためのヒント等の話がありました。）

(4) 五感で感じる樹木（渡辺直明 先生）

日頃から樹木等に対する引き出しを多くしておくことが必要。子供たちに説明をする際、動きがあると印象的で、特に食べ物系は印象が強い。見る、聴く、触る、嗅ぐ、味わうという五感を使つての説明は心に残りより、より興味を抱かせる。（五感と樹木ついて具体的な事例を挙げた話がありました。）

野外実習

紅葉が盛りの小石川後楽園内で、子ども樹木博士を実際に体験。小石川後楽園は、江戸時代初期、水戸徳川家の祖である頼房がその中屋敷として造つたもので、二代藩主の光圀

の代に完成した庭園。文化財保護法によって国の特別史跡・特別名勝に指定されています。

野外実習では、4班に分かれ、それぞれインストラクターによる樹木等の説明を受けながら1時間程度をかけて園内をツアー。その後、インストラクターの誘導により出題樹木をまわり、子ども樹木博士にチャレンジ。インストラクターは渡辺直明先生、堀内孝雄先生、小菅智彦先生、柳原高文先生の4人。樹木の名前当てクイズは19問(サイ



カチ、ムラサキシキブ、モチノキ、ヤツデ、ビワ、マテバシイ、スダジイ、サンゴジュ、タラヨウ、アカガシ、コブシ、カヤ、タブノキ、カクレミノ、クスノキ、アラカシ、シラカシ、ソヨゴ、タイサンボク)。その他の樹木クイズとして、園内に落ちていた松ぼっくりやドングリなど2種を拾いその樹種を当てる、園内にある雌雄異株の樹木2種を挙げる、園内にある香りのする樹木2種を挙げるといった問題を加え、樹木クイズとして25問。園内では樹木の葉や枝を取って出題樹木として示すことはできないので、定型的なかたちとは少し変えて実施。

意見交換等

野外実習の後、林友ビルにおいて、堀内孝雄先生による樹木クイズの解答・解説の後、セルフジャッジにより採点を行い、その結果に応じて級・段を記載した認定証の授与を行いました。参加者の皆さんの成績はすばらしく、ほとんどが有段者となりました。



木平会長から認定証の授与

こども樹木博士活動等についての質疑・意見交換では、「インストラクターから樹木のエピソードも交えた説明があり、それが頭に残った。子どもに教えるときに、エピソード等を入れて説明すれば興味を持ってもらえる。」「初段の立派な認定証ももらって大人でもうれしかった。もっと勉強したいとモチベーションの上がる活動だと思う。」「親子で参加すれば、親子のふれあいにもなる。」等の意見がありました。